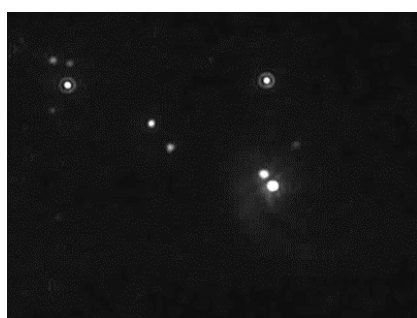
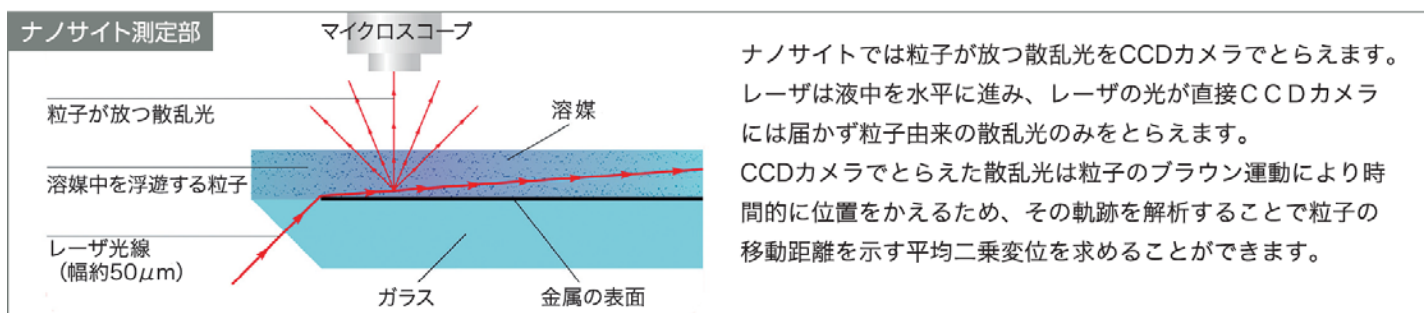


# ナノトラッキング法粒子径測定装置 ナノサイト

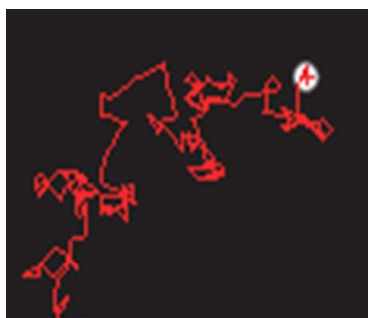
投与する薬剤やナノマテリアルの

- 粒子径分布
- 凝集割合
- 濃度

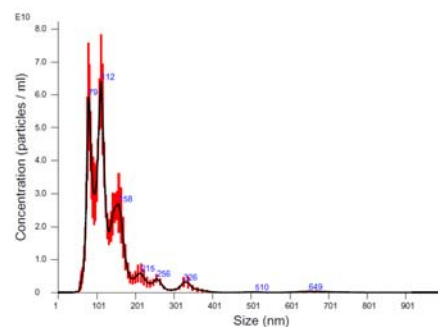
など、粒子の状態がわかります。



ナノ粒子の散乱光をキャプチャ



ブラウン運動をトラッキングし  
その速度から粒子径を算出



粒子径分布を表示

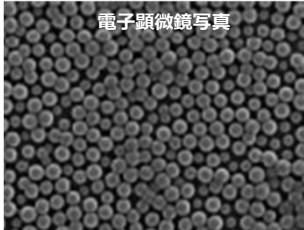
## アプリケーション

ナノサイトは医薬品やナノマテリアルのほか、様々な材料の分析に使われています

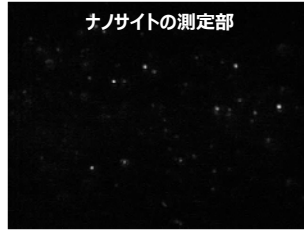


## 電子顕微鏡との違い

- 乾燥させないので、液中での状態がわかる
- 電子顕微鏡よりも多くの粒子を分析できる
- 粒子濃度が計算できる



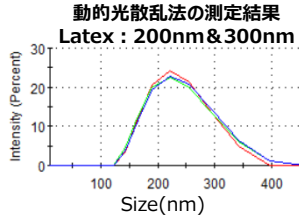
電子顕微鏡では、乾燥・蒸着などの作業により、もともと分散していた粒子が凝集してしまう。



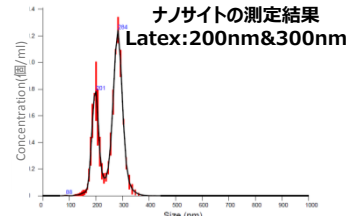
ナノサイトは液中の粒子を散乱させるので、分散したままの状態が見える。液中濃度もわかる。

## 動的光散乱法との違い

- 個数基準での粒度分布が算出できる
- 粒子濃度情報が得られる
- 分解能が高い



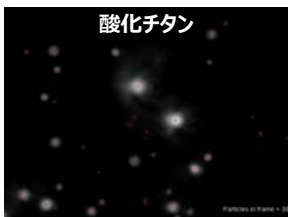
動的光散乱法では原理上、粒子径比1:3の分解能となるため、粒子径の近いものは分画できない。



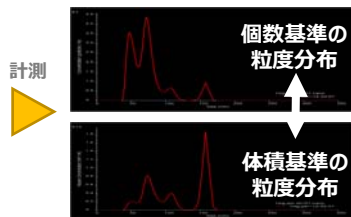
ナノサイトは1粒子ごとに解析するので、動的光散乱法と比べて分解能が高くなり、濃度情報も得られる。

## 微粒子を検出する

- 粒子を個別に解析する為、個数基準でデータを算出
- ナノ粒子の濃度を算出



ナノサイトでは、微小な粒子も大きい粒子も1つの粒子として計測



粒度分布の表示方法として使われる体積基準に変換可能。

## 蛍光粒子の選択検出

- フィルターで蛍光粒子を選択的に検出して解析
- 蛍光の粒子濃度情報もわかる



散乱光の情報では、蛍光粒子かそうでないかを問わず検出する



蛍光フィルターを用いると蛍光粒子のみを選択的に透過する

## 主な仕様

本体寸法 (H×W×D)	400 × 250 × 400 (mm)	
重量	12Kg	
レーザー波長	赤色: 642nm 40mW 青色: 488nm 45mW	緑色: 532nm 50mW 青紫色: 405nm 55mW
測定範囲	10nm – 2000 nm*	*サンプルに依存します
測定濃度範囲	10 <sup>6</sup> ~ 10 <sup>9</sup> 個/ml	

製造元



スペクトリス株式会社  
マルバーン・パナリティカル事業部

販売・お問合せ



シスメックス株式会社  
日本・東アジア地域本部 R&I営業部

〒651-2241 神戸市西区室谷1丁目3番地の2  
Tel: 078-991-2091 Fax: 078-997-9976  
〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号  
Tel: 03-5434-8556 Fax: 03-5434-8557  
[www.sysmex-labscience.jp](http://www.sysmex-labscience.jp)